



《発行》中津市ボランティア・市民活動センター（中津市教育福祉センター内）
〒871-0021 中津市沖代町1-1-11 TEL 23-2095 FAX 24-7682
《ホームページ》http://www.nakatsu-s.or.jp/ E-MAIL volunteer@nakatsu-s.or.jp

グループ活動紹介

～コスモス楠木会～



ボランティア活動のようす



会員数》女性16名
設立》平成4年10月
代表》楠木 廣子
連絡先》43-2472



大正琴の奏者として多くの経験を積んでこられた代表の楠木さんが、後世の育成と地域貢献を目的として結成したのが「コスモス楠木会」です。

結成当初は中津市内にとどまらず、宇佐市や豊前市も含めて広範囲で大正琴の演奏を披露してきましたが、現在は「より地元に着目した活動をしたい」という思いから中津市内を中心に活動を行っています。

主な活動内容は三光コスモス祭りや敬老会といった催しでの演奏披露や介護施設や地域のサロンに出向いての慰問を兼ねた演奏をしており、毎週木曜日に三光公民館で練習をしています。メンバーも40代から80代と幅広い年代の方々が構成されており、この会そのものが世代間交流の場としても機能しています。

代表の楠木さんは、「大正琴の技術を向上していくことも大切ですが、この会はそれだけに止めたくないている。大正琴をきっかけに世代の違う人が集まっているいろんな話ができる場をつくることも大切にしていきたい。そして私たちの演奏で喜んでくれる人がいるのなら、出来る限りそれに応えていきたい。この会がこれからも地域と一緒に歩みつづけていくためにもきちんと次の世代に引き継いでいきたい。」とおっしゃっていました。

また、練習にもお邪魔しましたが、真剣さの中にも時折笑いが起きるなど、とても良い雰囲気の中で大正琴と向き合っている皆さんの姿を見ることができました。

会からのメッセージ

介護施設のお誕生会や地域のサロン活動などの時に大正琴の演奏をに耳を傾けたり、一緒に歌ってくだされば嬉しいです。連絡をお待ちしています。



グループ活動紹介

給食ボランティアグループ『ちぐさの会』

今月のおすすめの一品【ちらし寿司】

材料（4人分）

- 米・・・2合 ●椎茸・・・3枚 ●人参・・・1/2本
- ごぼう・・・1/2本 ●あじ・・・1枚 ●卵・・・1個
- いんげん・・・2本 ●合わせ酢・・・少々
- 調味料・・・砂糖、塩（適量）

手順①米は洗ってかために炊く

手順②椎茸、あじ、人参、ごぼうは細かく切り、味付けをする。いんげんはさつと茹で斜めに切る。きんし卵を作る。

手順③ご飯に合わせ酢を混ぜていんげん、きんし卵を飾る



☆会のみなさんから一言☆

私たちは、受講者のみなさんが、「おいしかったよ。次のお弁当が待ち遠しいな。」と、喜んで下さる声と笑顔が嬉しくて月に一度のお弁当を楽しみに作っています。お弁当の材料にも気を配り、地産地消を心がけています。

今後も会員一同、心ひとつにして頑張って美味しいお弁当をお届けしたいと思っています。

会員数》20名
活動日》第3土曜日
活動場所》今津コミュニティーセンター
対象場所》植野・野依・赤迫
コスチューム》おそろいのピンク色のエプロンと帽子

～ボラのツボ～

被災地には行けないけど、何か支援したい“あなた”へ

仕事の都合がつかない、学校の試験がある、体力に自信がない、旅費や支援に必要な用具がない、などの理由で、被災地には行けない方でも支援できる活動があります。

1. 義援金・寄付金による支援
2. 被災地の品物を買う
3. 被災地に行く人を支援する
4. メッセージによる支援
5. 風評被害を広げない
6. 買占めをしない

※災害募金のうち、義援金は被災者への直接支援（見舞金等）、支援金は被災地で支援を行っている機関・団体（NPO/NGO）への活動資金提供と大きく2つの目的があります。

※個人からの救援物資は、被災地に送れないことがあります。ご注意ください。

中津市ボランティア・市民活動センターの登録状況

（団体）

- ボランティア団体・・・120団体
- 給食ボランティア団体・・・37団体
- 合計・・・157団体

- 団体延べ人数・・・3,877人

（個人）

- ボランティア個人登録・・・96人
- 総人数・・・3,973人
- （平成28年6月30日現在）

お知らせ

ボランティア登録団体の紹介冊子ができました。

現在157団体の活動内容等の紹介がわかりやすくまとめた冊子になっています。また、様々なボランティア活動のご紹介も致しますので、是非お立ちより下さい。



平成28年「2016年熊本地震」が起こって

4月14日、21時26分に熊本県を襲った震度7の余震。また、16日の1時25分に震度7強の揺れが本震となり、熊本県だけではなく、大分県にも被害が出ました。熊本県内の5市町の本庁舎の損壊や病院は倒壊し、熊本城では天守閣の屋根瓦が崩れ落ちました。また、阿蘇大橋の崩落や家屋の崩壊などの被害が起こり、大惨事となりました。避難所も各地で開設され、中津社協職員6名がボランティアセンターの運営支援に入りました。また、中津市社協にボランティア登録と活動保険に加入手続きをした、92名の方々が現地に入り、炊き出し、家屋調査、医療支援、がれきの撤去、電気の普及作業、などの活動をされましたのでご紹介致します。

☆ 運営に携わって感じた事 ☆

今回、私は南阿蘇村の災害ボランティアセンターの運営支援に行き、主に被災された方のお宅に伺って活動内容などを確認する業務に携わりました。

主な内容としては室内の片づけや家具の運搬、がれきの撤去などが多かったようにありますが、単純に作業をするだけでなく、被災された方がどういう支援を望んでいるのかを考えることが大切だと感じました。例えば、ある方のお宅に訪問した時、「思い入れのある物だから」と割れた食器をカバンにしまっている姿を目にしました。他人から見て割れた食器は「処分するもの」でも、もしかしたら本人にとっては「大切な宝物」かも知れません。ご本人からは「室内の片づけ」とだけ伺っていたのですが、活動が作業的にならないように調整することで、被災された方の想いに寄り添った支援ができます。

そういった想いと、「被災された方々の力になりたい」というボランティアの方の想いをつなぐのが災害ボランティアセンターの大切な役割の一つだと改めて感じました。

【 地域福祉課 島元卓也 】



被害の大きかった阿蘇大橋周辺の地区



南阿蘇村災害ボランティアセンター

☆ 被災地支援をして感じた事・思った事 ☆

食料品やトイレットペーパー物資の支援や感染症に対する予防や啓発支援に2回行きました。今後もニーズに合った活動を続けていく必要があると感じました。 T氏

何か自分にできることはないだろうかとの想いで行ってきました。同じ気持ちで来ている人が多く、こんなに人って集まるんだと驚きました。これからは違ったニーズも出てくるはずです。その想いにそったお手伝いが出来ればと思っています。 M氏

友人二人と瓦礫の撤去のボランティアに軽トラ持参で行きました。崩壊した民家はどこから手を付ければ良いか、と実際に目の当たりの現実に向き合いました。瓦礫等を袋に入れ、軽トラに積み込みゴミ処分所に2時間程度の時間を費やし、やっと持ち込みができれば、再度、約12カ所に分類させられるなど、事前の説明が足りずに混乱する場面もありました。また、ボランティア経験の少ない方や継続して活動されている方、経験豊富な方など様々な人がそれぞれの想いで行っている様子でした。 K氏

まだ元の生活に戻るまでは長い年月がかかるようです。季節がら、体調には十分気を付けて今後も、継続的なボランティア活動を行っていただきたいと思います。

～あの人のボラとの出会い気になりませんか？～

ボランティアのルーツをたずねて…N0.8

あらき
荒木

じゅんじ
潤次さん



「子どもに夢を
高齢者には安心を
障がい者には易しさを」

私がボランティア活動始めるきっかけとなる出来事がありました。それは今から37年前、当時消防署の救急隊として勤務をしていた時のことです。救急出動で道路に人が倒れていると通報があり、現場に駆けつけると30代くらいの男性が道端に座り込んでいました。救急車内に収容し、話しかけるも返答がなく、近くの病院に搬送し分かったことは、この方は耳が聞こえないということでした。この時、コミュニケーションをとる必要性を感じ、数か月後の市報で募集をしていた手話講習会に参加することにしました。約1年の講習後に手話サークル「さつき」の会員となり、聴覚障がい者の方と付き合いをさせて頂き色々な事を約20年間学びました。現在は、視覚に障がいのある方々の支援ボランティア「アイメイト中津きさらぎ」で活動をしています。

私が、現役中より今日までボランティアを続けることができたのは、自分ができる範囲と時間で無理のない活動が行えた事と、ボランティア仲間が理解してくれた事が特に大きかったと思っています。少し無理をしてボランティア活動をすると充実感が倍増するのも事実です。自分に合ったやり方が長続きする秘訣ではないでしょうか。また、2年前より「地域ボランティア小楠こまどり」で、高齢者との交流をしています。今年になり、1週間に2回程度自宅に近い交差点で通学時の見守りと声掛けを始めました。子どもとの交流が少ないのでこうした中で子どもの状態の変化に気づくことができた、と考えています。

なかつ子ども劇場鑑賞会のお知らせ



皆さんおなじみの『ピノキオ』の上映を致します。多くの方にご覧になって頂きたいと思います。是非、お誘いあわせにてご来場ください。

日時：8月20日（土）

18：30 開演

開場：中津文化会館大ホール

問い合わせ先：なかつ子ども劇場

24-1455 久恒



『2016夏ボラ』開催します!!



今年も、夏休みの一定の期間に、市内の福祉施設や地域サロン、ボランティアグループのご協力により、35施設でボランティア活動ができます。

この夏、ボランティア活動を通じて、自分自身を知る事ができたり、将来の夢が見つかったり、素敵な出会いがあったりと、思い出に残る夏にしませんか？

【活動期間】 7月17日～8月31日 昨年の活動のようす
【対象者】 県内の児童・生徒・学生や県内在住または勤務する社会人、中高年層の方々

【参加費】 無料

※万一の事故の備えとしてボランティア活動保険加入が原則です。加入翌日から平成29年3月31日までが補償期間とし、150円の保険料が必要となります。

【受付期間】 7月1日から随時の受付可能

【問い合わせ先】 中津市ボランティア・市民活動センター

☎ 23 - 2095

